

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 7 月 14 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp



【大倉山記念館にて日米大学生間交流アートワークショップの様子】

JICA ボランティアの派遣者の 方々が市庁舎を訪問しました

JICA（独）国際協力機構）では、1965 年から毎年 4 回にわたり、開発途上地域の経済・社会の発展や復興に協力するため、約 1,000 名のボランティアを世界各地に派遣しており、その内、横浜市内からも毎年 40 名前後の方が派遣されております。



6 月 16 日に、JICA 新規派遣ボランティアの 22 名が渡辺副市長と面会し、副市長からボランティアに尽力される隊員の皆さまに対しての激励と感謝の挨拶がありました。



アメリカ・カナダ大学連合の専務 理事が国際局を訪問しました

横浜国際協力センターに拠点を構えるアメリカ・カナダ大学連合日本研究センター（IUC：Inter-University Center for Japanese Language Studies）のインドラ・リービ専務理事が 6 月 22 日に関山国際局長と面会しました。



専務理事は、国際局によるサポートに対して感謝を述べられるとともに、今後も、IUC と横浜が連携していく意向を示されました。



第 6 回大倉山国際学生フォーラム が開催されました

6 月 24 日に横浜市の大倉山記念館にて第 6 回大倉山国際学生フォーラムが開催されました。米国ハーバード大学をはじめ横浜市立大学や慶応大学、東京工業大学の学生が参加し、共催者である本市から渡辺副市長による挨拶がありました。



フォーラムではアナウンサー・古典芸能解説者である葛西聖司（かさい せいじ）氏による歌舞伎をテーマとした基調講演や、市川ぼたん氏による日本舞踊の演舞に続き、歌舞伎研究家・通訳者マーク大島氏を迎え、3 名による鼎談が行われました。



また、学生交流ワークショップの開催を通じて、日米の学生が相互理解を深め交流を結ぶことができました。

